

# 日野 振興センターだより

No. 5

平成 26 年 6 月

鳥取県



写真：船通山 カタクリ

## 特集

### あいサポートアートとっとりフェスタ 日野郡関連イベント P2

障がい者の皆さんの雇用拡大を目指して P2

さぁ行こう！大自然あふれる日野路へ P4

特定外来生物の繁殖を防止しよう P5

「日野郡鳥獣被害対策協議会」本格スタート／しいたけ栽培はトリコデルマに注意!! P6

河川や道路の環境保全活動の取組紹介 P7

日野郡内の新規就農者の活躍に期待／日野郡の美味しい旬を伝えます！ P8

# 日野高校 大会オープニングと クライマックスを飾る

大会のオープニングセレモニーとクライマックスイベントを飾るのは、日野高校郷土芸能部と県立米子養護学校高等部による荒神神楽のコラボ公演。国内はもちろん中国や台湾など国外でも活躍し高い評価を受けている日野高校と、神楽を始めてまだ日の浅い米子養護学校の生徒達が、一緒に相談しながらコミュニケーションを重ね演目を完成させていきます。

今年は日野高校郷土芸能部も部員が増え、今までできなかった演目にも取り組めるようになり、よりスケールアップした公演に期待です。

## オープニングセレモニー

大会の幕開けを飾る盛大なオープニングセレモニーと障がい者のグループなどによる舞台発表  
コラボ神楽はオープニングステージに登場！  
・日時 平成26年7月12日(土) 13:00～  
・場所 とりぎん文化会館 梨花ホール

## クライマックスイベント

大会のクライマックスを飾るラスト3日間はプロのアーティストを始め、みんなで盛り上げるイベント満載  
コラボ神楽は初日のオープニングステージに登場！  
・日時 平成26年11月1日(土) 10:00～  
・場所 とりぎん文化会館 梨花ホール

## 問合せ先

全国障がい者芸術・文化祭課  
電話 0857-26-7157 FAX 0857-26-8136

日野高校出演イベント



## 本番に向けて練習中!!

県立米子養護学校の生徒達はまだ神楽を始めたばかりで、最初はうまくできるか不安だったけど、アドバイスをしたり一緒に練習していくうちに良くなってきました。もっと練習して、7月の本番では観客の方が感動できるような公演にしたいです。  
(左：権代絵里果 郷土芸能部長 右：小谷詩織 副部長)



この記事は日南町、日野町、江府町、日野振興センターが連携、共同して鳥取県日野地区連携・共同協議会の取り組みを情報発信しています。今回は障がい者雇用に関する取り組みの紹介です。



## 障がいを知り 共に生きる

障がいのある人もない人も一緒にって  
楽しめるアートの祭典、鳥取で開催!!



## 第14回 全国障がい者 芸術・文化祭とっとり大会 アートとっとりフェスタ

会期 平成26年7月12日(金)～11月3日(日)

## 日野郡関連イベント

「全国障がい者芸術・文化祭」は、障がい者の芸術及び文化活動への参加を通じて、障がい者の生活を豊かにするとともに、障がいへの理解と認識を深め、障がい者の自立と社会参加の促進に寄与することを目的として、毎年開催されているものです。

今回の鳥取大会では、「障がいを知り、共に生きる」を大会テーマとして、美術・文芸作品の展示、音楽、演劇、ダンスなど、障がいのあるなしにかかわらず、誰もが参加し、楽しみ、感動を共有することのできる鳥取県らしい心温まる大会を目指します。

大会期間中は県内各地で様々なイベントが開催され、日野郡でも関連イベントが行われます。詳しくは、大会ホームページをご覧ください。(http://www.14geibunai.jp/)

# 星野富弘 花の詩画展

不慮の事故により頸髄を損傷し、首から下の機能が麻痺するという障がいを負いながら、詩画の制作を続ける星野富弘さんの作品を紹介。

絶望の淵から立ち上がり努力を続けて打ち込んだ創作活動は、障がいを乗り越える希望の光となり、多くの人の心に感動と勇気を与えます。

会期中は、障がいがありながらも絵画や書の創作活動を続けている日南町にゆかりの方々の作品も同時に紹介します。

□会期 平成26年8月29日(金)～9月28日(日)  
※毎週月曜日は休館

□会場 日南町美術館

□主な作品 星野富弘詩画作品 70点

日南町にゆかりのある方々の作品展示コーナー

・高橋俊和さん(脳性まひ/書道) 約20点

・吉野公賀さん(視覚障がい/絵画) 約10点

・特定非常勤活動法人つなで

□入館料 一般500円、高校生300円、中学生以下は無料  
障がい者及び介助者の方は無料

□関連事業(予定)

・オープニング記念イベント

日時 平成26年8月29日(金) 12:30～

場所 日南町美術館及び総合文化センター「多目的ホール」

①オープニングセレモニー 12:30～13:30

主催者挨拶(増原町長)

来賓挨拶(富弘美術館館長 聖生清重氏)

②作品解説 富弘美術館館長 聖生清重氏

③講演会 富弘美術館館長 聖生清重氏 14:00～15:30

□主催 日南町、日南町教育委員会

□問合せ先 日南町美術館(鳥取県日野郡日南町霞785番地)  
電話 0859-77-1113 FAX 0859-77-1115



上：星野富弘作品「ひまわり」  
中：吉野公賀作品「輝いて。」  
下：高橋俊和作品「希望」

日野郡3町と県は、連携・共同して行政サービスの維持、向上や効率的な行政運営を促進するとともに、共通する諸課題の解決に取り組み、共同して「鳥取県日野地区連携・共同協議会」を設置しています。

本協議会では、障がい者の皆さんが継続して仕事を受注できる機会を確保するため、障がい者支援事業所へ役場庁舎等の清掃作業や樹木の水やりなどの維持管理作業を委託しています。

日野振興センターではこれまで、日野町根雨のセルピの(社会福祉法人祥和会)に庁舎のプラントや樹木の水やり・除草・植え替え作業、工事用図面折り作業などを委託してきましたが、平成26年度からは新たに公用車の洗車作業も追加して作業量を増やしました。

今後も、障がい者支援事業所と意見交換を交わしながら、雇用拡大を目指して取り組みを進めていきます。

## 障がい者の皆さんの雇用拡大を目指して

問 日野振興局 地域振興課 電話 0859-72-2086 FAX 0859-72-2072

# 特定外来生物の繁殖を防止しよう

## —オオハンゴンソウ—

特定外来生物とは、海外起源の外来生物で、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの又は及ぼすおそれがあるものの中から、国が指定したものを言います。飼育・栽培・保管・運搬・販売・譲渡・輸入などが原則禁止されています。アライグマやオオキンケイギクなど有名です。

その中で近年、日野郡では休耕地や河川などでオオハンゴンソウ(写真)が目立つようになってきました。

オオハンゴンソウは、高さが最大3メートルになる北米原産のキク科の植物で、明治時代に観賞用として日本へ持ち込まれたとされています。

根の欠けらからでも再生できる生命力を持ち、北海道や長野県では深刻な問題となっています。

繁殖する前に早期発見と駆除が重要になりますので、お近くで見かけたら下記の処理方法によって駆除にご協力をお願いします。



- 花期は7月～10月
- 大きめの黄色の花びらが垂れ下がる
- 直径6cm程度の中央の半球状の盛り上がりは花の集まり(筒状花)



### 処理方法



- ① なるべく根から引き抜く。困難な場合は、種がつく前に刈り取る。
- ② その場で掘けないように2～3日天日にさらすなどして枯らす。
- ③ ビニール袋などに密閉して燃えるゴミとして処分する。

問 日野振興局 地域振興課 電話0859-72-2081

### 野鳥を捕まえて飼ってはいけません！

学術研究の目的など特別な場合を除き、メジロ等の野鳥を捕まえて飼うことはできません。許可なく捕まえた場合、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられますのでご注意ください。野鳥は双眼鏡で観察したり、鳴き声を聞いたりして楽しみましょう。

問 西部総合事務所 生活環境局 電話0859-31-9320



# 日野路往來

～日野郡エコツーリズムおすすめコース～

- 昔の人に想いをはせて  
「出雲街道の名残をたどるコース」(日野町)
- かまど炊きごはんが美味しい  
「古民家体験と自然を満喫するコース」(日南町)
- 奥大山の自然を堪能するⅠ  
「高地湿原とカタクリの山を歩くコース」(江府町)
- 奥大山の自然を堪能するⅡ  
「美しい溪流の森とブナの樹海を歩くコース」(江府町)
- 知られざる日本一の歴史  
「奥日野の産業遺産と珍しい物めぐりコース」(日南町)

## さあ行こう！大自然あふれる日野路へ

～日野の雄大な自然と奥深い歴史・文化があなたを待っている～

日野郡広域交流促進協議会のエコツーリズムメニューづくり事業において、昨年、ワーキンググループを立ち上げ、ワークショップで検討を重ねて作成した日野郡版エコツーリズムメニュー5コースや春夏秋冬の見どころ、美味しいもの、泊まる場所などを盛り込んだ日野郡版エコツアーガイドマップ「日野路往來」が完成しました！

また、日野郡の体験メニューを「美味しいもの・働くもの・遊ぶもの・学ぶもの・作るもの」で分けたパンフレット「日野郡いろいろ体験メニュー」も発行しました！

これらは、日野振興センターのホームページ(<http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=30657>)からダウンロードできます。

日野郡広域交流促進協議会とは  
日野郡地域が活力ある地域として発展するため、関係機関と緊密な連携を保ち、日野郡の魅力ある地域資源を活用した交流事業を推進することで交流人口の増加を図ることを目的とし平成19年4月27日に設立されました。現在、地元のみちづくり団体、経済団体、環境保全団体、行政など(40団体)の官民によって組織されており、協議会では、日野郡版エコツーリズムのメニューの磨き上げを継続して行っています。

- 美味しいもの こんにやくづくり+田舎料理、手作り燻製、そば打ち体験など
  - 働くもの 農業体験(野菜の収穫、田植えなど)
  - 遊ぶもの 大樹のブランコ・ターザン体験、ラフティング、スノーシューなど
  - 学ぶもの ねうプラ、菅沢ダム見学、解脱寺天上画拝観、座禅体験など
  - 作るもの かずら籠づくり、苔玉、杉玉づくりなど
- 全34メニュー掲載

## 日野郡いろいろ体験メニュー

問 日野振興局 地域振興課 電話0859-72-2081



## 河川や道路の環境保全活動の取組紹介

～鳥取版河川・道路ボランティア促進事業～

鳥取県では、県が管理している道路、河川等の環境美化や維持管理に住民の方々に積極的に参画していただき、地域の実情に応じた環境保全を図るとともに、地域の活性化や公共空間の利活用促進に寄与することを目的として、活動団体を募集し、支援を行っています。

平成25年度も多くのご応募をいただきありがとうございました。平成25年度の活動取組の一部を紹介します。

### 上石見自治会の取組

日南町上石見地区周辺の緑地帯の清掃や、草刈り、側溝清掃などに取組まれました。



### 舟場自治会ボランティアグループの取組

日野町舟場の河川敷1万㎡の草刈りに取組まれました。



## 平成25年度鳥取版河川・道路ボランティア促進事業の取組紹介

### 事業概要

#### □支援対象となる活動内容

- ・道路の清掃、除草又は植栽管理
- ・河川の清掃、除草又は植栽管理 ・歩道の除雪
- ・公園の整地、清掃、除草又は植栽管理 など

#### □支援の内容

- ・参画型ボランティア促進事業  
自主的な環境美化を行う団体に対し、活動の実施に必要な援助を行う。
- ・協働型ボランティア促進事業  
県とのパートナーシップに基づいて協定を結び、一定区間の維持管理を行う団体の活動を支援する。

### 西岡ボランティアグループの取組

日野町本郷の河川敷1万㎡の草刈りに取組まれました。



問 日野県土整備局 維持管理課 電話0859-72-2046, 2047

### □協議会の構成員

日南町、日野町、江府町、日南町森林組合、鳥取日野森林組合、日野郡彌友会、鳥取県農業共済組合西部支所、鳥取西部農業協同組合、鳥取県西部総合事務所生活環境局、日野振興センター

### □実施隊の主な活動内容

- ①被害状況調査、パトロール
- ②侵入防止柵の設置、維持管理の指導
- ③鳥獣被害に関する研修会等の実施
- ④技術実証 等

注) 有害駆除、捕獲奨励金、侵入防止柵設置等は、町が引き続き担当します。

### □事務局

日野振興センター 2階 ☎0859-72-1399



実施隊員の皆さん

問 日野振興局 農業振興室 電話0859-72-2007



巡回調査中の実施隊員

## 「日野郡鳥獣被害対策協議会」本格スタート

～実施隊、出動開始！～

平成26年4月3日に「日野郡鳥獣被害対策協議会」の活動拠点となる事務所の開設式と、実施隊員4名の辞令交付式が行われ、本格的な活動が開始されました。

この協議会は、日野郡全域で広がる野生鳥獣（イノシシ、シカ等）による農林業被害を3町が連携して食い止めることを目的に、平成25年12月に設立されたものです。

今後は協議会が中心となり、地域とともに鳥獣被害対策に取り組みます。実施隊員は、皆さんの水田や畑周辺を巡回しますので、お気軽に声をかけてください。

## しいたけ栽培はトリコデルマに注意!!

カビの一種であるトリコデルマとその類縁は、しいたけ栽培に最も大きな被害をもたらす病害です。

しいたけのほだ木がトリコデルマの被害を受けるのは、しいたけ菌糸の活力が弱くなった時や、トリコデルマの勢いが著しく強まった時です。

例えば、5月から8月頃に直射日光がほだ木に1時間以上当たると、木の中は輻射熱で40℃以上となり、しいたけ菌糸が弱まったり死滅したりします。

このような条件で高温多湿の時に進入するのが、緑色トリコデルマです。侵入箇所は黒褐色となり、しいたけ菌糸は死んでしまいます。

また、春から梅雨期までの比較的冷涼でほだ木の水分含量が多い時によく発生するのは白色トリコデルマです。



緑色トリコデルマ

問 日野振興局 農林振興課 電話0859-72-2018

この被害を防ぐには、高温やほだ木の過乾燥でしいたけ菌糸を弱めないこと、多湿条件を持続させないことが必要です。

6月の梅雨前には、仮伏せ(樺積みなど)していたほだ木を起こして展開(合掌に組むなど)することになりますが、この時、風通しや収穫のしやすさを考えて行います。

また、通風を遮る低木や雑草などを下刈りし、ほだ木の積み替え、天地返し作業を行い、菌糸の繁殖を促してやることも必要です。

夏に向けてほだ木に直射日光が当たらないよう日陰を作ること、排水や通風の良いところにほだ木を置くことなどに気を配りたいところです。

# 日野郡内の新規就農者の活躍に期待



日野郡では近年、若い新規就農者が増えつつあります。特に日南町では、平成21年から農業研修制度を設けており、(一財)エナジーにちなんが研修生を受け入れていきます。この制度は、2年間の研修を経て就農するもので、研修生の大半は県外からターンです。就農者の栽培品目としては、町の特産物である夏秋トマトが主となっています。また江府町、日野町でもターンやターンで就農する人が少しずつ現れています。

年齢的には、比較的若い30代から40代が多く、今後郡内の貴重な地域の担い手となることが期待されます。

## 問

日野振興局 日野農業改良普及所  
電話0859-72-2026

日野郡新規就農者の就農状況

年度	H23	H24	H25	H26
人数	6人	1人	3人	1人

近年では、しいたけを経営の柱とする就農者もあり、日野郡の特徴を生かした営農も取り組まれているところがあります。

彼らは、後継就農者と異なり農地や農業用機械など就農のための基盤がないのが実状です。また地域の方々との交流も日野郡で生活するうえで大切なことですのでご支援をよろしくお願ひします。

今後は、日野郡の農業の担い手が減る中、日野郡農業の発展と地域の担い手として頑張っていたきたいです。

# 日野郡のおいしい旬を伝えます！

5月下旬からJA鳥取西部の取り組みとして、「日南高原朝どれ野菜」が岡山を中心とした山陽方面へ直送されています。出荷品目は134品目にもおよび、キャベツや青ネギ、トマトやピーマンなど色とりどりの野菜が11月末頃まで出荷されます。

日南高原野菜の主力であるトマト、ピーマンなどの果菜類は、日中に光合成で作られた栄養が、夜のうちに実に移行するといわれます。朝収穫することで水分や栄養をたっぷりと含んでいて、夏の健康生活をサポートしてくれます。

これからの時期は紫外線の量も多く、肌への負担が多くなる時期です。この時期の野菜には、肌の再生を促す栄養素であるビタミンA、ビタミンC、ビタミンEを豊富に含んでいます。旬の野菜を摂ることは、私たちの健康に様々な効果をもたらしてくれます。健康を維持するために必要な野菜の目標摂取量は、成人1日当たり350g以上と言われています。積極的に旬の野菜を摂りたいものです。

## 6月の旬 日南高原野菜

<レシピ紹介> 夏の肌に優しい野菜の“食べ合わせ”をご紹介します！

### 日南高原朝どれ野菜ととろろ昆布のサラダ



- ① トマトは、くし形など食べやすい大きさに切る。ピーマンは、たて半分に切り、繊維に直角に細切りにする。キュウリは、たて半分に切り、斜めに薄切ります。たまねぎは、繊維に沿った薄切りにする。
- ② ナスは、小さめの乱切りにし、油で炒め冷ましておく。
- ③ ポン酢(大2)、ごま油(小1)、砂糖(小1/2)、すりごま(大1)をあわせておく。
- ④ ①②の野菜を皿に盛り、とろろ昆布を手でちぎり食べる直前に野菜の上にお好みの量をのせる。
- ⑤ ③のドレッシングをかけて出来上がり。

とろろ昆布のマグネシウムやミネラル分を合わせて摂ることで皮膚の新陳代謝を促す効果が更に高まると言われます！

## 問

日野振興局 日野農業改良普及所  
電話0859-72-2026